

開講科目名	日本語聴解・会話初中級B			
成績入力担当	新庄 あいみ	開講区分		単位数
		第2クォーター		0.0単位
ナンバリングコード	R1IG030	曜日・時限等	木3(対面)	時間割コード

授業のテーマ

初中級レベルの聴解・会話能力の育成を図る。

授業の到達目標

1. 日常生活における基本的な聴解・会話能力を身につける。
2. 状況やコンテキストに応じたスピーチレベルの使い分けが出来る。
3. 日常生活の身近な事柄について、聞きとることができ、正しい発音・語彙・文法・表現で話すことが出来る。
4. 身近な事柄について限られた時間（1-2分）で、まとまりのある話ができる。

授業の概要と計画

本授業では、授業の冒頭、教科書附属の音声聞いた上で、教科書に出てくる語彙・文法・表現を確認し、音読を行う。教科書の内容を学習した後、ペアワーク、グループワークなどの応用練習を行い、より実践的な聴解/・会話能力の向上を図る。

授業のスケジュールは以下の通り。

- 第1回(6/11)L14申し出る・電話をかける
- 第2回(6/18)L15親しいともだちと話す
- 第3回(6/25)L16許可を求める
- 第4回(7/2)L18申し込みをする
- 第5回(7/9)L19頼む・頼まれる
- 第6回(7/16)L20アドバイスを求める
- 第7回(7/23)期末試験
- 第8回(7/30)期末試験予備日

成績評価方法

試験 30%

授業への参加度及び活動 40%

宿題・小テスト30%

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF（不可）とする。

成績評価基準

1. 日常生活における基本的な聴解・会話能力を身につけることが出来たか。
2. 状況やコンテキストに応じたスピーチレベルの使い分けが出来たか。
3. 日常生活の身近な事柄について、聞きとることができ、正しい発音・語彙・文法・表現で話すことが出来たか。
4. 身近な事柄について限られた時間（1-2分）で、まとまりのある話が出来たか。

履修上の注意（関連科目情報）

本授業は、同教員が担当する第10日本語聴解・会話初中級Bと連続で開講する授業科目のため、両方の授業を必ず履修すること。

本授業は初中級レベルの授業である。聴解・会話Ⅰまたは日本語聴解初級Bを履修しているか、CIE-JTestのレベルが初中級であること。2019年までのJ-CAT(オンラインプレースメントテスト)の総合結果が121-170であることが望ましい。

交換留学生受講可：【留学生に求める能力】日本語に関する初中級レベルの用語について日本語で理解できること。

「日本語会話初中級A」を同時に履修することが望ましい。

「日本語聴解初中級B」を続けて履修することが望ましい。

事前・事後学修

授業の前に、教科書附属の音声をよく聞き、語彙の意味・読み方・文法を必ず調べてくること。授業終了後は、日常生活の中で、授業で習った表現を積極的に使用し、日本語の聴解能力を向上させることが望まれる。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行うこと。

オフィスアワー・連絡先

新庄あいみ

shinjoaimi★gmail.com

学生へのメッセージ

教科書は初級クラスと同じです。

授業外でも、日本人学生の集まりや、地域のホストファミリープログラムなどに参加し、交流を楽しんでください。

今年度の工夫

教科書

改訂版 聞く・考える・話す 留学生のための初級にほんご会話 / 小池真理, 中川道子, 宮崎聡子, 平塚真理 著 : スリーエーネットワーク, 2019, ISBN:9784883197866

参考書・参考資料等

資料を配布します

授業における使用言語

日本語

キーワード

日本語、初中級、聴解、パソコン、交換留学生（特別聴講学生）可、授業への参加度、